

おはようございます。

みなさんは、「三寒四温」という言葉を知っていますか？

三寒四温というのは、「寒い日が3日ほど続くと暖かい日が4日ほど続き、また寒い日が来る」というように、寒い日と暖かい日が繰り返されて、やがて春になることを表した言葉です。

登校が再開された一昨日、気温が下がって雪が降るとっても寒い日になってしまいました。登校が再開された日に雪が降ったことだけを考えると何だか残念な気がしますが、寒さや暖かさが繰り返され、やがて春が来るということを知っていれば、雪が降るほど寒くても何とか耐えられそうな気がします。むしろ、記憶に残るかもしれないと思います。

さて、今、1年3組の代表児童から一年を振り返る発表がありました。振り返りをもとに2年生になってからの目標まで掲げられ、すばらしい発表でした。また、各学年の代表の人が立派な態度で修了証を受け取りました。教室のみなさんも代表の人に合わせて立派な態度だったと思います。

これから校長先生も、1年生の代表の人と同じように、この一年を簡単に振り返ってみようと思います。

校長先生は、一年前、令和3年度がどんな年になるのか不安でいっぱいでした。ですが、1学期に友だちと仲良く、先生方と力を合わせて学校生活を送っているみなさんの姿をみて、不安が吹き飛びました。コロナ対策も自ら進んで行っていましたね。ほんとうに偉いです。

1学期を過ごし、夏休みを終えて2学期が始まろうとした矢先、コロナ感染症が拡大して臨時休業になってしまいました。9月は、ほぼ一か月、オンライン等授業ということで自宅学習になってしまいました。10月に学校が再開されてからは学校行事の連続でした。遠足や修学旅行、体育学習発表会、お祭り代替行事で行った警察音楽隊の演奏や劇団による「イソップランドの動物たち」公演。とても忙しかったけれど、みなさんの協力と先生方の努力で、充実した2学期にすることができました。やがて3学期を迎え、3週間学校に来た後、3週間自宅学習になってしまいました。その後、3週間学校に来た後、先週の1週間、また自宅学習になってしまいました。今週から登校が再開されましたが、登校3日目です今日の修了式となりました。

コロナ禍に翻弄された一年でしたが、みなさん、ほんとうによくがんばりましたね。自宅学習をがんばり、学校に来た時も元気に生活するみなさんを見ていて、校長先生は元氣と勇気をもらいました。先生方も同じです。そして、みなさんと先生方と一緒に、今日、無事に修了式を迎えることができたことを、ほんとうにうれしく思います。

無事に迎えられたといえ、お世話になった6年生の卒業式が先週の金曜日に行われました。みなさんが作成した5年生の廊下のメッセージや、1年生の廊下の掲示物や、たくさんの花々等、温かい心で卒業生を送り出しました。その思いが6年生に届いたのだと思います。6年生全員出席して、とても立派な態度で卒業していきました。卒業後、5年生が国旗を掲揚したり、ストーブを片付けたりと、最上級生としての役割を果たしています。きっと、卒業生は、在校生の今の姿を喜んでいると思います。

コロナ禍を通して、気付いたことが二つあります。

一つは、「毎日学校に来ることは、当たり前なことではなく、とても貴重なことだ」ということです。この宝物のような日々を、みなさんは、友だちと先生方と力を合わせて、生活を充実させていました。

二つは、自宅学習でのがんばりです。学校に来られなくても、担任の先生方とつながって、お家の人に協力いただいて自宅でがんばっていました。

令和4年度がどのような未来になるのかわかりません。でも、学校でも自宅でもがんばっているみなさんの姿を見ていたら、どんな困難でも乗り越えられそうな気がします。

令和3年度は今日で終わります。一年間、お世話になった教室ともお別れです。お友達や先生方ともお別れです。自分を支えてくれたお友達に感謝し、お世話になった先生方に感謝し、一年間を締めくくしましょう。

みなさん、ほんとうによくがんばりました。一年間、ほんとうにありがとうございました。